



みゆ 海結ちゃん(平成16年12月6日生)
両親＝磯部直樹・弓恵さん〔野中〕
「お箸も鉛筆も上手に持てるようになったよ。
入学式が楽しみ！」



しょう 将ちゃん(平成21年9月18日生)
両親＝宮内優・麻紀さん〔二〕
「ぼくはつよしお兄ちゃんが大好きなんだ。
公園でよく遊んでいるよ」



みずき 瑞希ちゃん(平成22年11月12日生)
両親＝伊藤修・梢さん〔駒込〕
「ミルク大好き☆
いっぱい飲んで、元気に大きくなってね☆」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



ふるさとの自然 11

市内にも姿を現わした ハクビシン

あまり聞き慣れない名前だと思いますが、最近になって市内のあちらこちらに姿を見せるようになった動物です。

○外国から入ってきた動物？

ハクビシンはジャコウネコの仲間、中国・台湾・東南アジアなどに住んでいます。体の大きさは50cmほどで、太くて長い尾が特徴です。漢字では「白鼻芯」と書きますが、その名の通り額から鼻にかけて白い筋があり、目立ちます。日本のハクビシンは、外国から持ち込まれたものだともいわれています。

○旭市にも侵入

県内では20年余前に大原町で見つかったのが最初のようにです。写真の子供のハクビシンは18年ほど前に佐原(当時)市内で保護されたもので、この頃はまだ珍しい動物でした。その後どんどん広がって、今では市内でも見つかるようになりました。ただタヌキと同じように夜行性なので、昼間に姿を見ることはほとんどありません。

○木登りが得意

ハクビシンは、お寺などの大



きな建物の屋根裏を住み家にしていきます。木登りが得意で、特に果物が好きです。写真のハクビシンはバナナが好物で、人にも馴れてかわいがられています。しかし、数が増え過ぎて、果物を食べたり天井裏に入り込んでふんをしたり、子供を産んだりする被害も広がっています。

○近い将来アライグマも？

今、ハクビシンに続いてアライグマも県内に広がっています。旭市に迫っています。ペットとして飼われていたものが飼い主に捨てられ、野生化したものです。アライグマは凶暴な性格なので被害が心配されます。

(齊藤敏一)

暮らしのカレンダー

- 3日(木) 節分会(市内各寺・神社で開催)
- 6日(日) 第22回旭市飯岡しおさいマラソン大会
(午前8時30分～ いいおかユートピアセンター)
- 11日(金) 建国記念の日
- 16日(水) 市県民税、所得税の申告受け付け開始
(～3月15日(火))
- 27日(日) 市民ミュージカル「チャップリンをさがせ」
(午後1時30分～ 東総文化会館)

編集後記

もうすぐ、しおさいマラソン。私が親子の部に出場したときのこと。「子どものペースだから」と高をくくり、練習もせずに臨んだのが失敗の始まりでした。自信満々のはずが、スタート僅か数十秒で息も絶え絶え、息子には置いてきぼりにされる始末……。その後は自分との戦い。あまりの苦しさは生命の危機？を感じながらも何とかゴール前にすると、息子がゴールをせずに待っていた。感動の再会？と思いきや「父ちゃん早く！」語尾が荒い……。親子の部は「仲良く一緒にゴール」が決まりです。(Y)